

学校保健

The School Health No.157

(財)日本学校保健会

- 学校保健と教職員の採用試験
- 新採用者及び校長の学校保健研修
- Q & A…学校保健活性化のための
- 60年度計測値と推薦品一覧
- 本会新役員決る

~~~~~  
会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

学校保健充実のため

## 教育職員の資質向上を望む

(財)日本学校保健会副会長 村瀬敏郎

教育改革は社会問題として提起され、臨時教育審議会をはじめ各界での議論も高まっていますが、容易に結論の得られないのが現状であります。しかし、児童・生徒を中心にした保健教育の重要性については、高齢化社会への対応として十分な合意が得られるであります。

日本医師会は本年3月6日、教育改革についての意見を臨時教育審議会に提出しましたが、保健教育に関するその要旨は、ライフサイクルを通じた健康増進に着目し、心と体の健全な育成に主眼点を置いたことであります。その具体策として義務教育課程における保健教育の重視、就学前の幼児保育との連携の強化、教員養成課程における保健教育の充実、学校医の学術的知識を尊重する制度の確立などが提言されています。

日本学校保健会においても異論のないところであり、その実現を期待しつつ教育改革を見守るべきであります。



第9回 学校保健センター的事業報告会での研修風景

## 学校保健を教職員の採用試験に

発達期にある児童生徒には、何よりも各発達段階に応じた知・体・心の均衡のとれた成長が望まれる。しかしながら、学校現場では知育が優先して、心とからだについての配慮は疎かになり易い傾向がみられる。知・徳・体の三位一体とか、知と身(心とからだ)は車の両輪であるとか、言葉としてはいろいろに言われるけれど、現実には消化しなければならない教育課程のこともあって、知・体・心それぞれに向けられる教育側の意欲にも時間にも大きな格差があるのが現状ではなからうか。

一方、学校保健においては、現在は各種の健診体制も一応整備されたと言ってよく、今後は「健康教育」が重要な部門となって来ることが予想される。健康教育は、家庭及び社会環境が複雑化している中で子どもたちの発達上の問題も多様化しているので、一人一人の個性に見合った積極的な発達に向けてのきめ細かい支援が必要である。そのためには、学校医による健康相談、養護教諭の保健室を中心とした活動、或は保健委員会等も大事な場ではあるが、最も効果的な方途は、学級担任を中心とした全教員による常在的な健康管理と保健指導であろう。

定期健康診断も保健調査等を活用するようにはなっているが、決してその時点の断面健診の域を超えるものではない。健康診断により見落されがちな問題を発見するためには、日常の健康観察が重要であり、学校における経時的な日常観察ができるものは学級担任をおいて外にない。

いわゆる「心の問題」にしても、保健室での健康相談だけで済むものでなく、むしろ他の時間、他の機会を捉えて行う担任を中心とした教職員のカウンセリング的接触や指導の方が勝れた有効な方途と考えられる。

この様にみえてくると、現在、学校保健の向上のために要望される大きな事項の一つは、教員による保健指導であり、更には、それができるために教員の学校保健知識の向上ということになる。

保健体育は、教員資格取得には必須の履修科目とはなっているが、教員採用試験に当っては、殆どこの部門の出題がないのが現況である。最近、東京都では校長・教頭の採用試験に学校保健に関する出題がなされているとのことであるが、従来にはなかった出題部門ということであろうか、解答は必ずしも満足できるものではないとも聞いている。

真に児童生徒の知体心の均衡のとれた成育を望むのであれば、その教育に当るものの資質として、学校保健の知識の有無は是非とも問われるべき事項ではなからうか。採用試験にその出題がなかったからといって、その試験に合格した人達には、その部分の知識は少ない筈だ、などと思う訳ではないが、問いかけることで、保健への関心を持つ動機になろうし、何よりも学校保健の重要性を自覚して貫うことができよう。

学校保健に携るものとして、一緒に仕事をしていく教員の採用試験には学校保健に関する出題を必ず加えることを、明日の学校における健康教育向上のために、強く要望したい。

(日本学校保健会 理事 青木宣昭)

### 水泳プールの保健衛生管理

—きれいなプールで元気に泳ごう—

財団法人 日本学校保健会 編

学校プール衛生管理委員会は、この程、教職員がプール管理を実践するための手引書として、標記の図書を、読み易いことを主眼に作成、出版した。

ご希望の方は当会へ申込まれたい。定価1200円(送料別)。なお、各都道府県学校保健会でとりまとめ、一括申込みの場合は割引きされるので、お問合せ下さい。



## 北から南から

## 新採用者及び校長の学校保健研修

## はじめに

最近、児童・生徒の体力と健康については、体格の向上に対し、体力の低下が問われているが、一部の年齢での背筋力や柔軟性など、一部の能力を除いては、顕著な低下傾向はみられず、むしろ総合的には優れていると言われている。しかし、今日にみられる児童・生徒の疾病・異常は、単に身体的な面のみならず、精神的な面にまで及んでおり、注目すべきことである。

したがって、これらの様態を早期に発見し、的確に指導することは、学校保健の重要な課題であり、その充実を図るには、学校・家庭・地域とが三位一体となって、積極的に取り組まなければならないことである。ことに、学校における児童・生徒の健康問題の解決に当っては、すべからず、指導に当たる教職員等の健康に対する意識の高揚と健康教育への実践と定着化を図る必要があると考える。

なかでも、管理職である校長、教頭に対する学校保健研修会の開催は、是非とも充実させなければならない、と、常々感じているところである。

そこで、本稿では学校保健を推進するための現職教員、ことに校長及び新しく教職に着かれた教員（以下新採教員と略記する）に対する研修会、講習会のあり方について、日頃感じていることを述べたい。

### 1. 校長、教頭等管理職を対象とした研修会、講習会について

従来、「学校保健」は、狭義にとらえられている面と、体育・保健・安全・給食と、いわゆる総則体育の3つの趣旨をふまえた形で広義にとらえられている面があるが、これからの「学校保健」は、むしろ、後者の考え方で推進することが極めて重要であると信じている。

この様な意味合いから、熊本県学校保健会では、昭和60年度の事業に、会長部会（本県では14郡市、

高校1団体の学校保健会は熊本市を除いて学校長が会長を務めている。熊本市は医師会関係者が会長であるが、副会長は学校長である。）を設置した。

また、従来まで、校長、教頭等を対象とした「健康教育講習会」の開催は、県教育委員会の主催事業として実施していたが、本年度からは、学校保健会と共催で実施し、名称も学校保健研究協議会と改め新事業として開催、従来より以上に学校保健の研修に力を注ぐこととした。

### 2. 新採用者に対する研修会、講習会

新採教員に対しての学校保健に関する教育は、専門大学以外では、どちらかと言うと学校保健の実践とその指導については、必ずしも十分行われていないのが現状ではないかと考え、とくに、高等学校教員となる者への保健教育と管理については、殆どと言ってもいいくらい実施されていないのではないと思われる。

本県の場合、現在、県教育委員会主催の新採教員研修として「児童・生徒の基本的生活習慣の育成をめざす学校保健」として、体育・保健・安全・給食の面から、その指導法等について講義を中心に実施しているが、必ずしも十分な定着化はみられていない。より具体的な指導が必要である。したがってこれらについても、前述の学校長等に対する研修会・講習会の開催と同様に学校保健会としても一役も二役も買って、県教育委員会と一体となって推進すべきでないかと考える。

### 3. その他の研究会等

そのほか、研究会、発表大会等には必ず、学校長等を対象とした部門（または、班）を設置し、「学校保健の充実をめざす学校経営のあり方」等について検討すべきであろう。

いづれにしても、学校内での組織づくりをすることによって、学校保健に関しての研究や研修が実施され易い様にしなければならないと考える。

（熊本県学校保健会長 出田邦夫）

# Q & A — 学校保健活性化のための —

## Q 魅力ある学校保健委員会とは

### A1 学校医の立場から……………学校歯科医 石川 行 男

学校保健委員会の機能を最大に発揮させ、活発に進めるためには、委員会の適切な運営が必要となる。そのためには、次のような事項について配慮することが大切である。

- ① 議題は具体的にして、委員には事前に周知させておくようにする。  
多くの意見を得るためには話し合う内容と資料を事前に届けておき、出席者が意見を持つてのぞめるよう工夫する。
- ② 協議の時間は短時間に終るように計画する。  
内容にゆとりのある協議は、なごやかな雰囲気も生まれ、話し合いも活発になる。
- ③ 報告や連絡だけに終らないようにする。  
健康診断の結果と同時に委員それぞれの立場で、具体的な対策が考えられるように工夫することが大切である。
- ④ 協議された事項が実践に移されるようにする。委員それぞれの組織の系統を生かした実践に結びつけることが大切である。

### A2 学校薬剤師の立場から……………日本学校薬剤師会副会長 平 木 陽 一

中国の故事に「<sup>いちげつさんしゅうのたふ</sup>一月三舟喩」という伝えがある。道はたゞ一つであるが、人によっては見方が異なると解説されている。学校教育を円滑に進める上で「学校保健は重要である」という認識は、誰れもが持っている事柄といえる。ところが具体的に児童生徒、教職員の健康や環境について「どのようにとらえ、どのように管理を進めて行くか」という意見交換、討議の場、つまり、開催運営の方法が定着していないことが最も大きな要因といえそうである。

- ① 必ず定期に開催し、あらかじめ討議の内容を調整（非常勤三師の意見、日時決定）し、各委員に連絡をして置く。
- ② 開催に当って、必ず出欠を求め、予定時間通りに始め、定刻に終了するよう計画する。それには議題を少なくし、報告事項等は資料を用意する。
- ③ 学校三師は、専門的立場からの助言者であるから、一人舞台のような発言は慎むべきであろう。
- ④ 閉会前に次回のテーマ、日時を決定する。

以上、終了後、全員が「良かったナ」という学校保健委員会にしたいのである。

## A3 養護教諭の立場から…………… 養護教諭 田 口 つ ね

養護教諭の立場から、校医さんの出席をして頂くための働きかけとしては、およそ、次のことが考えられる。何んといっても、日頃から、校医さんと緊密な人間関係を樹立しておくのが基本条件である。

- ① 学校保健委員会がもつ機能を十分に理解して頂くよう、つねに保健情報を提供し、また、校医さんの意見をきく機会を多くする。
- ② 児童生徒の健康づくりには、校医さんの指導助言が不可欠である。校医さんの医学的知識と経験、保健情報を頂けるよう、積極的に対処する。
- ③ 学校保健委員会の主題は何。その主題の中での協議する事項は何か。助言をして貰いたい事項は何か。何月、何日、何時に開催し、何時に終了するかを、明確に事前に連絡しておく。

要するに学校の実態によって、留意すべき点も多いが、校医さんに出席をして貰うためには、問題点をよく考え、その解決のため具体的に行動する。すなわち、校医さんの指導助言が児童生徒の健康増進に役立つようにする。

## 第9回 学校保健センター的事業 アンケートの報告

当日の出席者 385 人。アンケートの提出者は 124 人であった。

### 1. 全般的な意見

- (1) 日本学校保健会と国との関係、学校保健センターの事業の概要が理解できた。報告事項の要点がまとめられてあり、盛りあがった。すばらしい取組みに感動をした。
- (2) 「児童生徒の健康状態は変わりつゝある。新しい健康観で、学校保健の充実発展を図るべきである」東会長のあいさつは、印象的であった。

### 2. 3分科会の感想

午後は1時から4時まで、3分科会で報告があり、参加者の意見は、次の通りであった。

#### A. 学校プール衛生管理委員会の報告と協議

- (1) 「水泳プールの保健衛生管理」の冊子は、分かりやすく、参考になった。参加者からの意見が多く、熱心な協議ができ充実した会であった。
- (2) 文部省、日学歯、日学薬、大学など責任者や専門の方々の出席があり、参考になった。
- (3) 普通学級と障害児学級のプールの使い方は、どうすればよいか。また、自閉症、てんかん児の扱いをどうすればよいか。

#### B. 心疾患委員会・心臓検診推進委員会の報告と協議

- (1) 「学校心臓検診の実際」は、実際的で大変参考になった。
- (2) 心電図のよみ、専門知識の解説が欲しい。
- (3) 突然死の扱い、応救措置、事後措置の手引書をぜひ作って貰いたい。
- (4) 心疾患の検診のための経費、関係機関が複雑である。分かりやすく利用しやすく、能率的な方法はないのか。

#### C. むし歯予防啓発推進委員会の報告と協議

- (1) 埼玉県の事例、幼、小、中の関連性がすばらしいできばえである。学校、家庭、地域の提携が、よい参考になった。
- (2) 分科会での報告は、一貫性があり、深まりのある充実した報告であった。
- (3) P T A、生徒の発表が欲しい。また、健康増進事業で、うまくいかない報告もしてもらいたい。

### 3. ぜひ設けて欲しい委員会は

- (1) 性の指導に関する委員会・心の健康、学校健康委員会。
- (2) 部活動の健康管理、膠原病、骨折、肥満など。

昭和60年度 年齢別 身長・体重・胸囲・座高の平均値及び標準偏差

Table with columns for gender (男/女), age group (幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校), and measurements (身長, 体重, 胸囲, 座高) with average values and standard deviations.

(注) 年齢は、昭和59年4月1日現在の満年齢である。

文部省調査統計課

昭和60年度「学校保健用品」推薦品一覧

○印は新規

(昭和60年4月1日～昭和61年3月31日)

Table listing recommended school health products with columns for category (別), item number (番号), name (品名), description (摘要), and manufacturer (商社).

◆会報の購読お願い 本会報は学校保健の現場ですぐに役立つ情報を中心に編集しています。学校保健関係者すべての方がたの定期購読をお願いします。年間購読料 500 円です。

**日本学校保健会だより**

**(財)日本学校保健会  
60・61年度の新役員決る**

**顧 問**

内 藤 誉三郎 参議院議員  
重 田 定 正 元 理 事 長  
洪 谷 敬 三 元 文 部 省 体 育 局 長  
岩 尾 泰次郎 元 理 事 長  
向 井 喜久男 元 副 会 長  
塚 田 治 作 元 理 事 長  
柳 川 覚 治 参議院議員・元文部省体育局長

**会 長**

東 俊 郎 順天堂大学理事

**副会長**

村 瀬 敏 郎 日本医師会常任理事  
尾 花 茂 大阪府学校保健会副会長  
関 口 龍 雄 日本学校歯科医会会長  
山 中 正 一 日本学校薬剤師会会長

**専務理事**

小 栗 一 好 学校保健センター的事業  
企画運営委員長  
日本医師会学校保健委員会  
委員長

**理 事** ◎印…常務理事

《加盟団体より》

青 木 高 志 北海道学校保健会理事  
沖 津 貞 夫 宮城県学校保健会会長  
◎青 山 松 次 神奈川県学校保健連合会理事  
◎和久井 健 三 東京都学校保健会会長  
◎矢 野 亨 群馬県学校保健会副会長  
大 月 恭 一 福井県学校保健会会長  
嶋 田 一 弘 愛知県学校保健会会長

**文部省体育局人事移動**

昭和60年4月1日付で、土居正氏(前福島県教育委員会社会教育課長)が学校保健課課長補佐に着任されました。

なお、前学校保健課長補任山口忠厚氏は電気通信大学学生部次長に転任されました。

古 川 太 一 京都府学校保健会会長  
賀 屋 重 雍 大阪府学校保健連合会副会長  
梅 原 亨 山口県学校保健連合会会長  
吉 野 幸 愛媛県学校保健会会長  
山 口 勇 郎 鹿児島県学校保健会会長  
◎榊 田 桂 横浜市学校保健会会長  
櫻 井 日出生 北九州市学校保健会会長

《職域より》

小 栗 一 好 専務理事の項と同じ  
◎下 田 巧 東京都学校保健会副会長  
◎村 上 賢 三 大学 教授  
◎高 石 昌 弘 大学 教授  
◎青 木 宣 昭 学 校 医  
荒 木 元 秋 学 校 医  
宮 本 吉 郎 学 校 医  
◎加 藤 増 夫 学校歯科医  
咲 間 武 夫 学校歯科医  
◎松 尾 学 学校薬剤師  
平 木 陽 一 学校薬剤師  
◎福 島 良 久 小 学 校 長  
◎遠 藤 秀 夫 中 学 校 長  
◎今 村 要 道 保 健 主 事  
◎安 藤 志 ま 元 養 護 教 諭  
樋 田 耕 平 P. T. A.

**監 事**

阿 部 信 美 学 校 医  
内 海 潤 学 校 歯 科 医  
光 星 一 郎 学 校 薬 剤 師

あとがき……新年度初めての会報をお届けする。本号から、昨年、本会が臨教審へ要望した事項をテーマとして編集するとともに、新たにQ & Aのページを設け、魅力ある学校保健活動の資料としたい。編集委員には石井宗一(京浜女子大講師)、石川行男(日学歯常務理事)、飯森関男(日学薬常務理事)、内山寅司(横浜学校保健会理事)、小川好平(前日本学校保健会常務理事)、杉浦稔(学校医)、福原保子(養護教諭)、堀内フミ(元日本学校保健会常務理事)、宮沢康造(独協大講師)の諸氏が引きつづき担当することとなった。よりよき会報を目指し編集したいと思うので、ぜひ、ご批判、ご注文をいただきたい。

